

第10回SAR実務者会合等の概要

1 SAR実務者会合開催の経緯

平成8年海上保安庁の呼びかけで、日本、韓国、ロシアの搜索救助実務者が集い搜索救助に関する協力及び搜索救助技術等について意見交換を実施、以後、平成9年から中国を加え、SARに関する実務的な意見交換の場として四カ国持ち回りで年一回開催している。昨年は中国（青島）で開催された。

2 日程（2005年）

- 10月24日（月） 第10回SAR実務者会合
 10月25日（火）午前 第10回SAR実務者会合
 午後 国際SARシンポジウム（公開）
 10月26日（水）施設見学（横浜防災基地、特殊救難隊訓練）
 10月27日（木）施設見学（舞鶴RCC、海上保安学校）
 10月28日（金）北西太平洋四カ国合同SAR訓練（京都府舞鶴沖の公海上）

3 海外からの参加者（5カ国1地域10名）

（1）SAR実務者会合参加者

- | | | | |
|---|--------------------------------|---------------------------|-----|
| イ | 中国：上海海事局副局長 | Mr. Zhi Guang Lu | 他2名 |
| ロ | 韓国：韓国海警庁海上安全課長 | Mr. Park, Cheol Won | 他1名 |
| ハ | ロシア：海洋汚染・海難救助調整庁ウラジオストクMRCC本部長 | Capt. Konstantin Sviridov | 他1名 |

（2）それ以外の行事参加者

- | | | |
|---|---------------------|--------------------|
| イ | フィリピン・コーストガード次長兼参謀長 | RADM E. Padama |
| ロ | ベトナム海運総局MRCC本部長 | Mr. Nguyen Van DOI |
| ハ | 香港海事局救難課長 | Mr. Chan Kwok Wai |